

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年5月29日(2014.5.29)

【公表番号】特表2013-523405(P2013-523405A)

【公表日】平成25年6月17日(2013.6.17)

【年通号数】公開・登録公報2013-031

【出願番号】特願2013-505052(P2013-505052)

【国際特許分類】

A 4 7 C 7/40 (2006.01)

【F I】

A 4 7 C 7/40

【手続補正書】

【提出日】平成26年4月14日(2014.4.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

着座構造体であって、

上縁部、互いに反対側の側縁部及び下縁部を備えた背もたれ部材を有し、前記背もたれ部材は、前記上縁部と前記下縁部との間に前記背もたれ部材の垂直中心線に沿って形成されている前方へ向いた凸形状を有し、前記下縁部は、前方へ向いた凹形状を有し、前記下縁部は、前記上縁部よりも長く、前記下縁部は、前記上縁部全体の前方に位置決めされた外側部分を有する、

ことを特徴とする着座構造体。

【請求項 2】

前記背もたれ部材は、変化する断面領域を有する複数本の側方に延びるバンドを有する、請求項 1 に記載の着座構造体。

【請求項 3】

前記背もたれ部材は、成形 3 次元形状の成形コンポーネントを有する、請求項 1 に記載の着座構造体。

【請求項 4】

前記上縁部に隣接して前記背もたれ部材に連結された支持体を更に有する、請求項 1 に記載の着座構造体。

【請求項 5】

前記支持体が、前記中央直立部と該中央直立部から外方に延びる一対のアームと備え、該アームが、前記上縁部に隣接して前記背もたれ部材に連結されている、請求項 1 に記載の着座構造体。

【請求項 6】

前記背もたれ部材の下縁部の外側部分に隣接して配置され横方向に間隔をおいた 1 対の側方直立部を備え、

前記外側部分が前記側方直立部に連結されている、

請求項 5 に記載の着座構造体。

【請求項 7】

前記側方直立部材に受け入れられた 1 対の肘掛けを更に有する、

請求項 6 に記載の着座構造体。

## 【請求項 8】

前記 1 対の肘掛けが、上下方向に調整可能である、  
請求項 7 に記載の着座構造体。

## 【請求項 9】

前記 1 対の側方直立部および前記中央直立部が、しっかりと連結されている、  
請求項 6 に記載の着座構造体。

## 【請求項 10】

前記支持体が、前記側方直立部を連結するクロス部材を備え、  
前記中央直立部が、前記クロス部材に連結されている、  
請求項 9 に記載の着座構造体。

## 【請求項 11】

前記側方直立部および中央直立部が、ベース構造体に枢動可能に連結されている、  
請求項 9 に記載の着座構造体。

## 【請求項 12】

前記外側部分の各々が、締結具で、対応する一方の前記側方直立部に連結されている、  
請求項 6 に記載の着座構造体。

## 【請求項 13】

前記背もたれ部材が、貫通する複数の開口を備えている、  
請求項 1 に記載の着座構造体。

## 【請求項 14】

前記開口の少なくとも幾つかが細長い形状である、  
請求項 13 に記載の着座構造体。

## 【請求項 15】

前記開口の少なくとも幾つかが上下方向に細長い形状である、  
請求項 14 に記載の着座構造体。

## 【請求項 16】

前記下縁部が、前記背もたれ部材の最後部を形成する、  
請求項 1 に記載の着座構造体。

## 【請求項 17】

前記背もたれ部材の前面に係合した補助支持部材を更に有する、  
請求項 1 に記載の着座構造体。

## 【請求項 18】

前記補助支持部材及び前記背もたれ部材の前記前面を覆うフォーム基材と、前記フォーム基材を覆って設けられたファブリックとを更に有する、  
請求項 17 に記載の着座構造体。

## 【請求項 19】

前記上縁部及び前記下縁部に隣接し前記背もたれ部材に連結された支持体を更に有する、  
請求項 17 に記載の着座構造体。

## 【請求項 20】

前記背もたれ部材は、何ら拘束がない場合に扁平な部材を備え、  
前記背もたれ部材は、前記支持体への前記連結により 3 次元形状を取る、  
請求項 1 に記載の着座構造体。

## 【請求項 21】

前記支持体は、上方支持構造体と下方支持構造体とを備え、  
前記下方支持構造体が、前記背もたれ部材の下縁部に連結されこれを支持する湾曲支持部材を備えている、  
請求項 1 に記載の着座構造体。

## 【請求項 22】

着座構造体であって、

上方取り付け部分を備えた上部支持構造部材と、

前記上部支持構造部材に対して垂直方向に間隔をおいて位置する下部支持構造部材であって、前記上方取り付け部分の前方に位置決めされた１対の互いに間隔をおいて位置する側方取り付け部分及び前記側方取り付け部分の後方に位置決めされた中間取り付け部分を有する下部支持構造部材と、

前記上方取り付け部分に連結された上方部分及び前記側方取り付け部分に連結されると共に前記中間取り付け部分に連結された下方部分を有する可撓性部材とを備え、

該可撓性部材は、前記可撓性部材の腰部領域のところで水平面で見ても前方へ向いた凹形状を有し、

前記可撓性部材は、前記可撓性部材の中心線のところで垂直面で見ても前方へ向いた凸形状を有し、

前記可撓性部材、前記上方取り付け部分と前記側方取り付け部分との間に延びると共にこれらの間で張力をかけられている側縁部を有し、

前記上方部分から遠ざかる方向に向けられると共に前記側縁部のいずれか一方の任意の箇所での張力ベクトルが前方へ向いた成分を有する、

請求項１に記載の着座構造体。

【請求項２３】

前記上部支持構造部材及び前記下部支持構造部材は、垂直に延びる直立部に連結されている、

請求項２２に記載の着座構造体。